

豊能支部だより

豊中市・吹田市・箕面市
池田市・豊能町・能勢町

2017年5月号



会員の皆さん、こんにちは。“目に青葉 山ほととぎす 初鯉” 爽やかな季節を迎え、花粉症の方々もほっとされているように思います。さて、4月8日には、ドーンセンターで「社会福祉士合格祝賀会&入会説明会」が開催されました。平成29年度の全国受験者数45,849人、合格者数11,828人と発表されました。当日は、各支部長がトンガリ帽子を被り、支部活動の様子をアピールすると共に、入会の誘引活動をしてきました。

参加者の自己紹介では、元宝石商だった方や他職種の経歴が印象的で、故蜷川監督の言葉を思い出しました。「できるだけ屈折している人がいい。光が入ったときには、普通の人の屈折率よりも、違うふうに光が入って複雑に反射するので、演技は厚くなる」

机上の学習だけでなく、他職種の会員さんとの交流で得られるリアル体験が、対人援助職にはとりわけ必要だろうと改めて感じました。

支部長 川原 千鶴子

今後の予定

支部研修会

日時：6月23日（金）

場所：播磨社会復帰促進センター（刑務所）

官民協働の刑務所として運営され、社会福祉士も配置されている播磨社会復帰促進センターを参観（見学）します。

（詳細裏面）

支部運営会議

日時：5月12日（金）午後7時30分～

場所：豊中市千里文化センター（コラボ）

日時：6月9日（金）午後7時30分～

場所：豊中市千里文化センター（コラボ）

BBQ大会

日時：7月17日（月・祝）午後1時30分～

場所：服部緑地公園バーベックマルシェ

※詳細は次回6月号でご案内いたします

<支部会員リレー紹介>



織田 篤志 さん

国立病院機構刀根山病院でMSWをしています。前職から通算して18年ほど豊中で勤めています。この間、法施行・改正、司法福祉やSSWなど社会の変化（深化）に伴い資格取得時には無かったことが求められてきました。

当院は呼吸器科、神経内科の専門病院で筋ジストロフィー患者の療養介護施設も併設しています。地域での役割としては、市中病院より専門性を求められるオタクな病院なので、重症患者が集約されてきます。したがって治療は、守備範囲は狭く、専門性は深くとなります。しかし疾患を踏まえて療養環境を支援するには守備範囲、専門性ともに多くの生きた情報と知識が求められます。

多様な対応が求められる時代に単独で解決できることは皆無ですので、いろんな専門職や組織とのつながりや助けを相互に提供しあう他ないと日々思っています。今年100周年の当院が地域に開かれた病院となれるように仕事していきたいと考えています。

播磨社会復帰促進センター(刑務所)参観

訪問先 : 播磨社会復帰促進センター
兵庫県加古川市八幡町宗佐 544

日時 : 平成29年6月23日(金)

集合時間: 午前9時50分 集合場所: JR大阪駅3階連絡橋の改札内側
当日連絡先: 090-1586-3372 (斎藤)



参加費 : 各自実費 (往復交通費は3000円程度)

参加定員 : 15名 (お申込が定員に達し次第、受付を終了させていただきます)

当日の流れ : 10:00 新快速姫路行き乗車 ~ 11:10 厄神駅着 ~ タクシーで現地
11:30 現地受付後、食堂で昼食 (500円程度で定食あり)
13:00~15:00 施設内の参観及び質疑応答 ~ 帰路

- ※訪問先施設の特性に鑑み、男性はスーツ、女性も参観に相応しい服装でご参加ください。
- ※申込後、個別のご連絡等は原則いたしません。

<参観の目的>

当該施設は国内初のPFI (Private Finance Initiative) 方式で運営されている刑務所です。受刑者数約1,000名のうち120名は特化ユニット (精神や知的障がいのある受刑者) があり、比較的犯罪傾向が進行しておらず、執行刑期は1年から8年未満までの男性の受刑者が収容されています。

そして、当該施設には社会福祉士の配置があり、就労支援や生活の基盤の確保、福祉の活用など、社会復帰にむけた支援が行われています。

社会福祉士の配置により、今までの矯正処遇と、何がどのように変化してきたのか。また、今後の課題について、司法と福祉の領域から支援者としての学びを深めましょう。

<参加申し込み> (5月19日締め切り)

FAX 06-6871-9334 (株)鶴亀 桑原 宛

ふりがな 氏名		住所	
連絡先	携帯電話番号 (- -) メールアドレス (@)		
年齢		性別	職業

FAX 又は上記の内容を tsurukame@soleil.ocn.ne.jp まで